

優しく強い子に!



http://www.minamih.net/
21・6・16(水)
南NEWS no 35



せてしまったのが原因でしたが、これから教える北斗七星のシステムを早く身につけて、防いでいきましょう。

第二試合以降は、突然の雨の影響でミニゴールを使った臨時特設コートでのゲームでしたが、試合の待ち時間でテンションが保てず、雨に濡れて体も冷え切ってしまい、失点が重なります。これまで連戦の経験も少なかったのもありました。これはコーチの指導、管理不足ですね、ごめんなさい。

試合の中でよかったことと、課題を、以下に記します。

○カウンターで得点を狙えるチャンスは何度もあった。ただ相手のプレッシャーを振り切るスピード、ターンの技を咄嗟に出せなかった。通常の練習でも、相手が防御に来るシーンをイメージした技の習得が重要です。

個人技のレパトリーは覚えてきたので、あとは実戦で使える素早さ、大きな動きができるようになります。

○ユウキ君・ハルト君の声出しは素晴らしかった。味方にやって欲しいことをきちんと伝えるコーチング、また疲れが出てきた時には声を出して鼓舞させる雰囲気をもっと出していきましょう。



いぶ理解できています。

○ユウキ君のゴールを目指す積極的な姿勢、第一ディフェンスの役割が、強く意識できてきました。

B クラス試合レポート】 《大会名》 TMvs 大和田 SC

《日時・会場》 2021/6/13 (日) @文化大 G

《めあて》

第一ディフェンスと第二ディフェンスを意識する、技を使う、ドリブルしてシュートする、声を出す

《試合結果》

- 南八王子 0-2 大和田 15分
- 南八王子 0-10 大和田 (前半 0-5) 15分H
- 南八王子 0-3 大和田 (前半 0-3) 15分H

《試合の様相》

試合成立最小限の6名の参加でしたが、大和田さんのご協力で、6人制の試合形式でした。ただしコートのはさは8人制と同じ、走り切るスタミナがどま

で保てるか、みんなの頑張りどころでした。第一試合は15分1本、めあの一歩にあげた第一ディフェンスのプレス、相手の蹴り出しを狙う第二ディフェンスの役割を皆意識して、良い勝負になりました。

失点はほとんどがスペースを広く使う相手の戦術で、ディフェンスが甘くなったところをフリーでシュートさ

せてしまったのが原因でしたが、これから教える北斗七星のシステムを早く身につけて、防いでいきましょう。

第二試合以降は、突然の雨の影響でミニゴールを使った臨時特設コートでのゲームでしたが、試合の待ち時間でテンションが保てず、雨に濡れて体も冷え切ってしまい、失点が重なります。これまで連戦の経験も少なかったのもありました。これはコーチの指導、管理不足ですね、ごめんなさい。

試合の中でよかったことと、課題を、以下に記します。

○カウンターで得点を狙えるチャンスは何度もあった。ただ相手のプレッシャーを振り切るスピード、ターンの技を咄嗟に出せなかった。通常の練習でも、相手が防御に来るシーンをイメージした技の習得が重要です。

個人技のレパトリーは覚えてきたので、あとは実戦で使える素早さ、大きな動きができるようになります。

○ユウキ君・ハルト君の声出しは素晴らしかった。味方にやって欲しいことをきちんと伝えるコーチング、また疲れが出てきた時には声を出して鼓舞させる雰囲気をもっと出していきましょう。



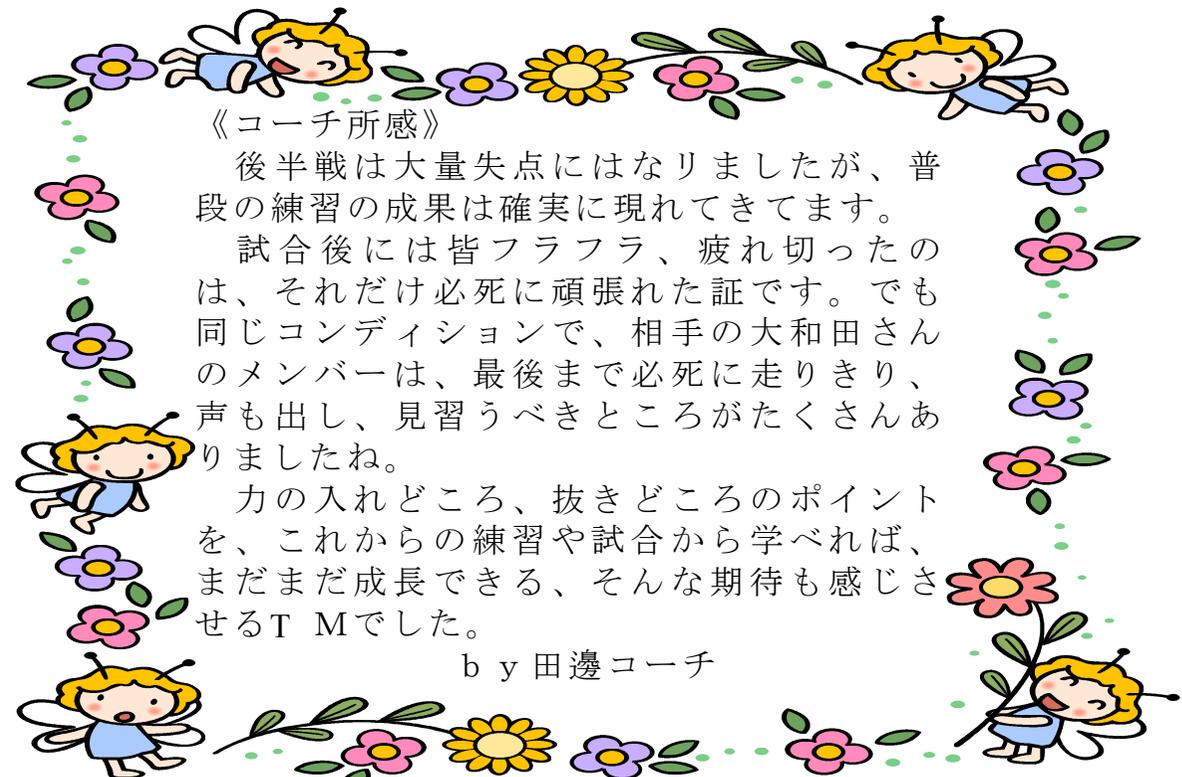
いぶ理解できています。

○ユウキ君のゴールを目指す積極的な姿勢、第一ディフェンスの役割が、強く意識できてきました。

○ユウト君から始まる高い精度のゴールキック、それを受けるみんなのフォーメーションが、チーム全体で浸透してきました。キープ力がまだ成熟していない分、かたまりを作ってそこへ蹴り込み、相手に奪われてもすぐ味方が取り返せる、南スタイルの戦術がだ

○アツヤ君は相手にドリブルで抜かれた後も、追いかけて直すスタミナ、必死に食らいつくがむしゃらさ、気持ちの高め方と体力は、これから練習で培っていきましょう。

○トア君の成長が目覚ましく、積極的なアプローチを見せてくれます。しっかり練習に取り組み、チームの機能をよく理解しています。



《コーチ所感》

後半戦は大量失点にはなりましたが、普段の練習の成果は確実に現れてきてます。

試合後には皆フラフラ、疲れ切ったのは、それだけ必死に頑張れた証です。でも同じコンディションで、相手の大和田さんのメンバーは、最後まで必死に走りきり、声も出し、見習うべきところがたくさんありましたね。

力の入れどころ、抜きどころのポイントを、これからの練習や試合から学べれば、まだまだ成長できる、そんな期待も感じさせるT Mでした。

b y 田邊コーチ

どんな技が使えましたか?

3年生は南のテクニカルカードを見たことがありますか。いろいろなターンの技が7, ドリブル・フェイントの技が11。表になっていて、試合や練習でできたかどうかを記入して、自分の進歩を確かめ、さらに上手くなろうとするためのテクニカルカード(技のカード)です。添付します。

5年生のユウセイ君・ショウマ君・ユヅキ君・ヒロト君は試合でいろいろな技を使って相手をおかし、チャンスを創り、得点を挙げています。イスの形・ダブルタッチ・マルセイユルーレット・キンタダンス・ビッグブリッジ等の技を楽しんでいます。

ドリブル・ターンの技は算数で言えば、繰り上がりのある足し算・繰り下がりのある引き算、かけ算・割り算の基礎・基本です。4つの基礎をものにしていないと算数ができるようにはならないのです。

サッカーを思う存分楽しむには、ドリブルとターン、それに左右のキックを強く、正確に蹴ることができるようになることです。

矢上は中学生時代に逆足の左足のキックを、高校生時代にダブルタッチ(みんなのとは違う)を練習の前や後の自主練で自分のものにしました。



写真は濱中さん 有り難うございます!!

